

堺市立歴史文化にぎわいプラザの利用料金の還付に関する基準

本基準は、堺市立歴史文化にぎわいプラザ条例（平成 25 年条例第 44 号）第 26 条第 7 項の規定に基づき、堺市立歴史文化にぎわいプラザ（以下「プラザ」という。）の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の指定管理者における還付に関する取扱いについて必要な事項を定める。

1. 常設展示室（千利休茶の湯館及び与謝野晶子記念館をいう。以下同じ。）の展示又は企画展示室の特別展示の観覧に係る利用料金を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
 - (1) 天災地変その他常設展又は特別展を観覧しようとする者の責めに帰さない理由により、観覧することができなくなったとき。 既納の利用料金の全額
 - (2) 観覧しようとする者が観覧日前 7 日までに観覧の取り消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の利用料金の全額
 - (3) 前号に掲げるもののほか、プラザを管理する指定管理者が必要であると認める場合は、市と協議のうえ、市長の承認を得て利用料金を還付できるものとする。 指定管理者が必要と認める額
2. 企画展示室、茶の湯等体験室、復元茶室又は講座室（以下これらを「許可施設」という。）の利用に係る利用料金を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
 - (1) 天災地変その他使用者の責めに帰さない理由により使用できなくなったとき。 既納の利用料金の全額
 - (2) 使用者が使用しようとする日前 7 日までに許可施設の使用の取消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の利用料金の全額
 - (3) 前各号に掲げるもののほか、プラザを管理する指定管理者が必要であると認める場合は、市と協議のうえ、市長の承認を得て利用料金を還付できるものとする。 指定管理者が必要と認める額
3. 附属設備の利用に係る利用料金を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
 - (1) 天災地変その他使用者の責めに帰さない理由により使用できなくなったとき。 既納の利用料金の全額
 - (2) 使用者が使用しようとする日前 7 日までに許可施設の使用の取消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の利用料金の全額
 - (3) 前各号に掲げるもののほか、プラザを管理する指定管理者が必要であると認める場合は、市と協議のうえ、市長の承認を得て利用料金を還付できるものとする。 指

定管理者が必要と認める額

4. 駐車場の利用に係る利用料金を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。
- (1) 天災地変その他駐車場の利用者の責めに帰さない理由により利用できなくなったとき。 既納の利用料金の全額
 - (2) 駐車場を利用しようとする者が利用日の前 7 日までに利用の取り消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の利用料金の全額
 - (3) 前号に掲げるもののほか、プラザを管理する指定管理者が必要であると認める場合は、市と協議のうえ、市長の承認を得て利用料金を還付できるものとする。 指定管理者が必要と認める額

附則（平成 26 年 8 月 1 日制定）

この基準は、平成 26 年 8 月 1 日から施行する。

附則（平成 26 年 12 月 1 日制定）

この基準は、平成 26 年 12 月 1 日から施行する。

附則（令和 3 年 3 月 31 日制定）

この基準は、令和 3 年 4 月 7 日から施行する。